

3月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和8年第1回定例会（3月議会）は、3月2日から26日までの会期で開催しました。

各会派の代表質問3人に続き9人の議員が一般質問を行い、予算決算委員会では、一般会計・特別会計および企業会計それぞれ令和7年度補正予算および令和8年度予算を審査しました。

また、議案審議では、令和8年度予算を含む村長提出議案等31件全てを可決・承認・同意しました。

令和8年度一般会計予算 総額222億円を可決（前年度比 17億4,700万円の減）

東海村の総合計画「まちづくりの羅針盤」が2年目を迎えるに当たり、こども・わかもの政策や産業振興ビジョンの推進、新たな基盤整備、DXの推進などを重点的な取り組みとして編成された予算案を賛成多数で可決しました。

賛成（16）

反対（1）

賛成議員の主張

川崎 克彦 議員

こども・わかもの政策やDX、防災施策、産業振興ビジョンを評価する一方、財政の厳しさや基金への依存、スクラップ・アンド・ビルドの必要性はあるが、持続可能な財政運営を求めた上で令和8年度一般会計予算に賛成。

反対議員の主張

大名 美恵子 議員

小学校給食の無償化や5歳児健診の実施等は住民の立場で村政を前進させるもので評価。一方、村政のデジタル化推進による個人情報流出の危険や、子ども・子育て支援金の医療保険料からの徴収は筋違い等、容認できない。

3
月
定
例
会

くらしゼロカーボン応援 補助事業がスタート

太陽光発電設備や省エネ家電、EV（電気自動車）購入など、これまで個別に運用していた環境関連の補助制度を一本化し、「くらしゼロカーボン応援補助事業」として再編する予算について可決しました。補助内容はメニュー形式で整理し、新たにエコキュート設置補助が追加されるとともに、住民の皆さまが選択・申請しやすい仕組みに改善されます。環境に目を向ける機会が増えることや、予算が一元管理されることで住民ニーズに応じた柔軟な配分が可能となり、無駄のない予算の執行となることを期待します。



■当初予算額 1,740万円